「東京医科歯科大学基金」
ご協力のお願い

TMDU
住所：東京都文京区湯島 1-5-45　電話：03-5803-5068
e-mail：bokin.adm@tmd.ac.jp

国立大学法人
東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY

GREETINGS

「力を合せて未来を拓く」にご協力ください

学長
田中 雄二郎

2020年4月、学長に就任以来、新型コロナウイルス感染症対応に積極的に取り組んで参りました。都内でも最も多くの重症患者を受け入れた大学であり、ウイルス変異株の遺伝子解析の発信、広域のワクチン接種への協力など社会への貢献を重ねて参りました。新型コロナウイルス感染症対策基金を始め、2020年度は多くの方から前年度の6倍以上に相当する寄附を賜りました。このことが、コロナ禍に立向かう私達にとっての物心両面の支えになりました。コロナ禍のため存続の危ぶまれた寄附講座を継続させて頂くことも出来ました。これは一例に過ぎませんが、皆様のご厚情は、どのように感謝してもしきれないことと認識しております。本当に有難うございました。

コロナ禍であっても、これまで東京医科歯科大学が掲げてきた「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という理念は、引き続き大切にしていきたいと考えています。これに加えて、私は学長就任時に「力を合わせて未来を拓く」という方針を掲げました。

これは、2020年春以降の新型コロナウイルス感染症に対する取り組みにおいても、力を結集して困難に正面から立ち向かう意志を込めた「患者さんを守る、仲間たちを守る」という合言葉につながっています。あわせて、「教職員全員の自律と協調による開かれた明るい大学」をつくることを目標に掲げていますが、「自律と協調」とは、教職員の個々人が自律的に考え行動しつつ、お互いに協調しながら一体感を生み出していく姿勢です。

私は2020年9月には、ダイバーシティー＆インクルージョンの推進宣言を発出しましたが、これが「開かれた」というフレーズに端的に表れています。これらを踏まえて、関わるすべての人々が前向きになれる「明るい大学」にすることが最終的な目標です。さらに、このたび指定国立大学法人(※)の指定を受けたことを追い風に、トータル・ヘルスケアの新たなモデルを社会や世界に対して発信していくことが、これからの私たちに与えられた重要な使命だと考えます。

また、2021年6月にはSDGs推進宣言を発出しました。国内外の社会と関わる中、世代を超えて地球・人類の「トータル・ヘルスケア」を実現するにあたり、海外大学との連携強化や若手研究者の短中期の海外滞在支援を充実させ、世界各国で体験するチャンスを提供していくことが必要です。

2020年度は新型コロナウイルス感染症により渡航に対し、大きな制限がありましたが、1年以上が経過し、渡航制限も緩和され始めております。力を合せて未来を拓く…未来を担う学生たちに、より恵まれた環境と国際的な活躍のチャンスを提供するため、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、大学の多彩な活動を支えてくださっている皆様のご健勝を心からお祈り申し上げ、ご挨拶に代えさせて頂きます。

（※）指定国立大学法人制度とは、我が国の大学における教育研究水準の著しい向上とイノベーション創出を図るため、文部科学大臣が世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学法人を「指定国立大学法人」として指定することができる制度。

ご寄附いただいた基金で、大学が行う事業について一層の充実を推進します

基金には下記の6つがございます。
何れかの基金を選んで、ご支援いただくようお願い申し上げます。

一般基金

教育研究環境の整備を始め、学生の支援や国際交流活動などを通じ、
社会貢献することを目的に広く寄附を募金しています。

- 教育・研究環境整備の支援
- 国際交流活動への支援
- 施設設備・福利厚生事業等キャンパス整備の支援
- 卒業生および同窓会との連携活動への支援
- 教育研究に係る社会連携活動への支援

下記の目的に特定した募金も行っております。

経済的理由により修学困難な学生の支援

修学支援基金　（修学支援基金は、税制上有利な「税額控除」が可能）

学生の課外活動（部活動、サークル）の一層の発展

課外活動支援基金

先端的医療の開発推進や診療体制の充実、診療環境整備による患者サービスの向上

東京医科歯科大学病院支援基金

※病院全体だけではなく、医系または歯系への寄附のご要望も受け賜わっております。

前線に立つ医療者の安全・安心の確保、学生への教育支援、研究支援

新型コロナウイルス感染症対策基金

学生又は不安定な雇用状態にある研究者に対する助成

研究等支援基金　（研究等支援基金は、税制上有利な「税額控除」が可能）

10月1日、「東京医科歯科大学病院」へ

医学と歯学の融合、相乗効果でより高いレベルの医療を提供したい

東京医科歯科大学病院
病院長
内田 信一

東京医科歯科大学病院は2021年10月1日にスタートしました。これまで２つの病院を支えてくださった皆様に深く感謝いたします。

「世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供し、人々の幸福に貢献する」という理念と４つの基本方針は、「安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院」という医学部附属病院の理念と、「優れた医療人の育成に努め、患者さん一人ひとりにあった最高水準の歯科医療を提供する」という歯学部附属病院の理念を継承しつつ、さらに高いレベルの「東京医科歯科大学病院」をスタートさせるために定めたものです。

医学部附属病院と歯学部附属病院という２つの病院が一体化することにより「頭から足先まで」トータルに全身を診ることで、今まで以上に患者さんの健康に貢献できる医療を提供してまいります。一体化によって医学と歯学の融合が進み、互いに相乗効果を発揮して、より高いレベルの医療を提供できると考えております。

2つの病院は2020年からは新型コロナウイルス感染症対策にも積極的に貢献しています。困難な局面に対しても「コロナから患者さんと仲間を守る」というスローガンの下で、職員全員が一致団結し、大きな力を発揮することができました。

私の専門は腎臓内科です。近年、腎臓疾患と口腔内の健康状態に関する研究報告が発表されていますので、病院一体化で新しい研究成果を発信することに大きな期待を抱いております。

2023年度には「機能強化棟」が完成予定で、新時代の救急医療と高度先進医療を提供する拠点、そしてお茶の水・湯島に集う人々のオアシスが誕生することにも胸が高鳴ります。スタートを切った東京医科歯科大学病院の取り組みに、皆様のご理解とご支援をいただけますよう心よりお願い申し上げます。

2つの病院の力を1つにまとめ世界最高水準をめざす

東京医科歯科大学病院
首席副病院長
水口 俊介

東京医科歯科大学病院として新たな幕が開きました。新しい病院の理念には、「世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供」という使命が掲げられています。すでに東京医科歯科大学の歯学分野は日本第1位、世界第5位で、医学分野でも日本第4位の高い評価を獲得（＊注）していますので、今まで培ってきた2つの病院の実力を、病院一体化によってさらに大きな力にまとめ上げて、この理念を実現させるために精進してまいります。

初代の首席副病院長として、私は「歯系診療部門」を統括する役割を担うことになります。内田信一病院長との連絡を緊密に取って、東京医科歯科大学病院らしいトータル・ヘルスケアを一人でも多くの患者さんに提供できるような体制整備を推進します。

私の専門は高齢者歯科学と全部床義歯補綴学で、簡潔には高齢者の口腔ケアと総入れ歯の制作を行っています。口は栄養の入り口で、特にさまざまな疾患を抱える高齢者のトータル・ヘルスケアには、口だけでなく全身面での健康管理が必須となるため、病院一体化によってさらにきめ細かい診療を提供し、新しい研究成果を世界に発信できると期待しております。

医学部と歯学部が一体化することによって次々に生まれる新しい成果が、人々の健康に貢献し、「唯一無二の病院」として世界中の人々から注目していただけるように職員が一丸となって奮励努力してまいりますので、今後も変わらぬご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2023年度に完成予定の機能強化棟は、医科棟と歯科棟を結ぶ新しい施設。免震構造、自家発電システム、医療情報の管理など、災害時に強く、病院を守る機能を強化しています。その一方で、地上7階、地下2階で、交通アクセスもさらに充実する予定で、地域の人々が集うスペースも提供する準備を進めています。

東京医科歯科大学基金 募集要項

基金の管理運営体制

(1) 東京医科歯科大学基金運営委員会において事業計画などを審議し、その決定に従って支出します。
(2) 基金の使途及び活動実績等については、ホームページ上で公表いたします。

ご寄附をお願いしたい金額

(1) 一口１万円（病院支援基金については一口千円から受けいたします）
本基金の趣旨をご理解いただき、複数口のご協力をお願いします。なお、分割納付によるご寄附も可能です。

(2) 建物等
土地や建物による寄附についても、ご相談をお受けしています。まずは募金室までご連絡ください。

寄附手続きについて

■振込方法

①振込用紙（同封）によるお振込み
郵便局または三菱UFJの各窓口をご利用いただくと、振込手数料が無料となります。
そのほかの金融機関からのお振込みの場合は、振込手数料のご負担が発生します。
本学構内にある「御茶ノ水郵便局（東京メトロ丸の内線入口そば」のご利用が便利です。

②インターネットでのお振込み（クレジットカード決済）
本学募金室ホームページからお申込みいただけます。
クレジットカードでは、継続寄附のご利用もできます（毎年賞与支給月にご支援、など）
なお、クレジットカードでご支援を申し込んだ日付で領収いたしますが、決済代行会社から大学基金への入金を確認してから領収書を発行するため、お時間がかかることがあります。あらかじめご了承願います。

【東京医科歯科大学基金ホームページ】 http://www.tmd.ac.jp/kikin/

QRコード

・寄附金の入金を確認させていただいた後、本学が発行する「寄附金領収書」をお送りいたします。
・土地、建物建築及び有価証券等の寄附は、事前に募金室へご相談くださるようお願いします。

遺贈／相続財産による寄附をお考えの方
本学では下記信託銀行と包括契約を締結し、大切な財産について相談できる体制を整備しています。大学が窓口となりますので、安心してご連絡ください。ご希望の信託銀行にお取次ぎをいたします。
三菱 UFJ 信託銀行 ／ 三井住友信託銀行 ／ みずほ信託銀行

ご寄附に伴う個人情報の取扱について

ご寄附により取得した個人情報につきましては、本学から領収書とお礼状の送付、寄附者様への謝意表明に関する業務及びメールマガジン等による本学情報の発信のほか、寄附者様に連絡の必要がある場合のみに利用いたします。

※入学した年にいただいた寄附については、優遇対象とならないことがあります。　募金室までお気軽にお問合せ下さい。

税制上の優遇

本学へのご寄附については、種々の税制上の優遇措置が受けられます。
一般的なご寄附や相続財産による寄附などの場合も、条件や寄附の仕方によっても受けられる優遇措置が異なる場合もあります。
詳細は、募金室ホームページ内の「税制上の優遇措置」をご参照ください。
ご入金の確認後、本学からご寄附の領収書をお送りいたしますので、確定申告をするまでの間、大切に保管しておいてください。

寄附者特典

50万円以上 ご寄附いただいた方への特典
（※ネクタイとスカーフのどちらかをご選択いただきます）

東京医科歯科大学オリジナルネクタイ
本学のスクールカラーをイメージしたストライプ柄のネクタイです。剣先にはシンボルマークを刺繍しています。ネクタイをはじめとする紳士用品の老舗「銀座田屋」に製造を依頼した特注品です。

東京医科歯科大学オリジナルスカーフ
本学広報誌の表紙を飾ったイラストを使用したスカーフです。シルク100%の特注品です。
（スカーフサイズ：90cm×90cm）

10万円以上・30万円以上 ご寄附いただいた方への特典

東京医科歯科大学オリジナルバッジ
本学のブランドマークを象ったバッジです。裏面にはシリアルナンバーを刻印しております。
「10万円以上ご寄附いただいた方には銅製のバッジ」
「30万円以上ご寄附いただいた方には純銀製のバッジ」を贈呈いたします。
（バッジサイズ：20mm×20mm）

（表面）
（裏面）

※金額はご寄附累計額です。
※平成27年度以降にいただいた個人の方からのご寄附が対象となります。

ご寄附いただいた方との連携

本基金にご寄附をいただいた方々のご厚意に対して、感謝の気持ちを込めて顕彰等を行います。

(1) 寄附者芳名録
ご寄附をしていただいたすべての方を「基金寄附者芳名録」に記して、東京医科歯科大学の歴史に末永く留めさせていただきます。
また、本学ホームページや広報誌『Bloom! 医科歯科大』で寄附をいただいた方の紹介をいたします。(ご希望により掲載しないこともできます)

(2) 銘板掲載
下記によりご寄附をしていただいた方のお名前を建物の「東京医科歯科大学基金寄附者銘板」(M&Dタワー 2F ホワイエ) に記して末永く顕彰させていただきます。

プレートに寄附者 (匿名希望者を除く) の氏名等を掲載

ブロンズ：30万円以上	**ピンクゴールド**：1,000万円以上（名誉功労賞）
シルバー：100万円以上（功労賞）	**BLOOM GOLD**：3,000万円以上（栄誉功労賞）
プラチナ：500万円以上（特別功労賞）	**MISSION BLUE**：１億円以上（特別栄誉功労賞）

(3) 大学行事への招待
100万円以上（功労賞）、ご寄附いただいた方には学長・理事との懇談会への招待や、本学主催の行事（入学式など）にご来賓としてお招きいたします。

※金額は、ご寄附の累計額とします。

【お問合せ先】 東京医科歯科大学募金室
住所：東京都文京区湯島 1-5-45　電話：03-5803-5068　e-mail：bokin.adm@tmd.ac.jp